

# 施策評価調書(1)

評価対象年度 令和元年度

めざす姿	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出
施策関係課	(建設部)建設管理課・公園課／(都市計画部)みどり課・赤山歴史自然公園整備室

**●施策の基本方針(目標)**

本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出します。

**●目標指標**

指標	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)	単位	%	指標の種別	成果
指標①	目標値	現状値を上回る(令和2年度)	現状値	44.8(平成27年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	46.7	47.9	47.4	48.4	
	名称	親水護岸の整備延長			単位	m
指標②	目標値	3,240(令和2年度)	現状値	1,830(平成26年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	1,930	2,085	2,085	2,110	
	名称	保全すべき緑地の確保			単位	m <sup>2</sup>
指標③	目標値	200,000.00(令和2年度)	現状値	196,473.51(平成26年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	187,253.82	181,884.82	185,003.32	185,003.32	
	名称				単位	
指標④	目標値				達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称				単位	
指標⑤	目標値				達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称				単位	

\*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度予算額
事業額	事業費	1,154,911	1,874,026	781,791	740,451	1,520,746
	概算人件費	99,970	117,078	149,468	149,073	154,919
	総事業費	1,254,881	1,991,104	931,259	889,524	1,675,665

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 54	単位施策② 52	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
B				53.0	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度 令和元年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 水辺環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度の総評価	令和2年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(予算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
41100101	芝川緑化期成同盟会補助金	建設部	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	54	現状維持で実施
		建設管理課	7,954	7,566	7,663	7,663	7,663		

単位施策名 ② 緑地環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度の総評価	令和2年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(予算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
41200101	緑化推進事業	都市計画部	19,108	14,177	15,177	12,626	19,772	54	現状維持で実施
		みどり課	15,580	14,040	14,220	14,220	14,220		
41200201	緑地保全事業	都市計画部	22,955	21,523	19,607	16,296	20,791	56	拡充して実施
		みどり課	24,600	23,400	23,700	31,600	31,600		
41200211	荒川運動公園施設運営費	建設部	—	20,293	20,670	23,096	43,083	54	現状維持で実施
		公園課	—	3,120	3,160	3,160	3,160		
41200221	都市公園指定管理者管理費	建設部	320,520	320,520	320,520	323,489	327,590	52	現状維持で実施
		公園課	1,230	1,170	3,160	1,185	3,160		
41200233	生産緑地等管理業務システム化事業(平成30年度をもって完了)	都市計画部	—	—	1,220	—	—	—	—
		みどり課	—	—	23,700	—	—		
41200301	荒川運動公園整備事業(平成28年度をもって完了)	建設部	54,708	—	—	—	—	—	—
		公園課	3,280	—	—	—	—		
41200601	仮称石神西立野第7公園整備事業(平成28年度をもって完了)	建設部	42,304	—	—	—	—	—	—
		公園課	2,050	—	—	—	—		
41200701	仮称戸塚東部第2公園整備事業(平成28年度をもって完了)	建設部	23,643	—	—	—	—	—	—
		公園課	1,640	—	—	—	—		
41200731	青木町公園駐車場整備事業(平成29年度をもって完了)	建設部	—	76,075	—	—	—	—	—
		公園課	—	2,730	—	—	—		
41200771	仮称前川3丁目第6公園整備事業(平成29年度をもって完了)	建設部	—	33,966	—	—	—	—	—
		公園課	—	2,730	—	—	—		
41200804	赤山歴史自然公園整備事業	都市計画部	665,147	1,369,474	388,089	328,557	856,650	58	現状維持で実施
		赤山歴史自然公園整備室	39,536	34,242	46,215	47,005	54,036		
41200901	緑の日推進事業	都市計画部	1,800	1,500	1,500	979	—	48	休止
		みどり課	1,640	2,340	2,370	2,370	—		
41200951	第2次緑の基本計画策定事業(平成30年度をもって完了)	都市計画部	—	8,003	7,776	—	—	—	—
		みどり課	—	23,400	23,700	—	—		
41201201	公園施設長寿命化計画策定事業	建設部	3,726	7,495	6,232	3,080	6,600	54	現状維持で実施
		公園課	2,460	2,340	1,580	1,580	1,580		
41201301	特定生産緑地地区指定検討事業	都市計画部	—	—	—	10,725	11,992	51	現状維持で実施
		みどり課	—	—	—	31,600	31,600		
41201401	樹木管理指針策定事業	建設部	—	—	—	8,800	8,800	52	現状維持で実施
		公園課	—	—	—	3,950	3,950		
41201501	公園緑地公有地化事業	建設部	—	—	—	2,343	—	46	休止
		公園課	—	—	—	790	—		

単位施策名 ② 緑地環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
41201602	沼田公園整備事業	建設部 公園課	—	—	—	9,460	224,468	52	効率化して 実施
			—	—	—	3,950	3,950		

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41100101	事業名称	芝川緑化期成同盟会補助金	事業区分	通常事業
担当	建設部	建設管理課	問い合わせ先	258-1110(#33-5212)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ① 水辺環境の整備				
根拠法令等	芝川緑化期成同盟会補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	芝川緑化期成同盟会	旧芝川周辺を利用する市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	行政による河川環境整備に加え、地域住民の理解と協力を得ながら旧芝川の緑化整備を促進し、もって川口市の都市環境改善に寄与することを目的とする。	河川敷清掃、緑化事業及び県への要望活動等に対して経費の一部を補助する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川敷清掃</li> <li>要望活動</li> <li>植栽</li> </ul>	項目	実績	単位
		河川敷清掃	442	人
		要望活動	1	回
植栽	550	株		
事業の成果 【定性的評価】	旧芝川の緑化整備が促進されたこと及び県の整備事業等の進捗により、都市環境の改善に貢献した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧芝川河川敷に植栽した株数			指標・目標値の説明(算定式)	毎年度樹木等の価格変動を反映して設定している。				
	単位	株	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	432		720		550				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	01項	01目	004細目	01細々目	芝川緑化期成同盟会補助金			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,000	1,000		1,000		1,000		1,000		
決算額(B)=(C)+(D)	1,000	1,000		1,000						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,000		1,000		1,000		1,000		
概算人件費(E)	7,566		7,663		7,663		7,663		7,663	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.97	0.00	0.97	0.00	0.97	0.00	0.97	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,566		8,663		8,663		8,663		8,663	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	会員及び事業費が年々減少するなか、事業をどのように継続していくかが課題である。今後の同盟会のあり方について、総会や委員会等で検討を依頼する。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41200101	事業名称	緑化推進事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-6335	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備				
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、川口市緑の基本計画				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民、市民ボランティア、事業者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民、事業者、行政が一体となって緑の創出に取組み、緑豊かな潤いのある美しいまちづくりを進めるため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導</li> <li>・公園花壇や街路の花壇スタンドなどのボランティア活動支援</li> <li>・フラワーロードのスポンサー企業・団体の募集</li> <li>・苗木の配布、生け垣設置・屋上緑化等の補助</li> </ul>		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導</li> <li>・ボランティア活動への草花資材等の支給及び補助金の交付</li> <li>・フラワーロード4路線でスポンサー企業・団体等の募集</li> </ul>	項目	実績	単位
		フラワーロードでのスポンサー募集事業		4
苗木等の配布		500	本	
事業の成果 【定性的評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築主に緑化指導を行ったことにより、緑が創出され、ヒートアイランド現象の緩和に貢献した。</li> <li>・ボランティア活動により緑のまちづくりが推進された。フラワーロードのスポンサーからの協賛金をボランティア活動の支援に活用した。</li> </ul>			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ボランティア団体数			指標・目標値の説明(算定式)	公園花壇やフラワーロードなどで草花の植替えや維持管理を行う団体数(基準:95団体)				
	単位	団体	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	95		95	95	95	95	95		
	実績値・達成状況	88	未達成	92	未達成	92	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	002細目	01細々目	緑化推進事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	21,232	18,685		20,387		19,772		19,772		
決算額(B)=(C)+(D)	14,177	15,177		12,626						
財源※	特定財源(C)	6,075		5,174		9,015		8,907		
	一般財源(D)	8,102		10,003		3,611		10,865		
概算人件費(E)	14,040		14,220		14,220		14,220		14,220	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,217		29,397		26,846		33,992		33,992	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	ボランティアの高齢化により、今後、活動の減少、団体数の減少が懸念されるため、新たな担い手を得るための情報収集及び周知を行う。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41200201	事業名称	緑地保全事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-5721	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 59 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	ふるさと埼玉緑を守り育てる条例、埼玉県身近な緑公有地化事業実施要綱、川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者。自然再生活動登録団体。	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	近年の都市化の進展に伴い、樹林地をはじめとする身近な緑が失われつつあるなか、市内に残る身近な緑(樹木、樹林地等)を保全し、緑豊かな都市環境の形成及び自然と共生する社会の実現を図ることを目的としている。	緑の保全のため、保全緑地等の指定と奨励金や管理経費補助金の支給。公有地においては、樹木の剪定、伐採等を行うと共に、協力団体に管理費用の一部を補助するなどして維持管理を行っている。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者に対し奨励金を支給。保全緑地等の所有者等の申請を随時受付し剪定費用の補助として管理経費補助金を保存樹木については10万円、保全緑地は30万円を上限として支給。	項目	実績	単位
		保存樹木等管理奨励金	180	人
保存樹木等管理経費補助金	7	件		
事業の成果 【定性的評価】	公有地等で緑地の管理を行っている自然再生活動団体に対し助成金を支給し、適正管理活動により良好な緑地空間の形成が図られた。保存樹木等管理経費補助制度においては、7件の申請があり適正な緑地等の管理が図られた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保存樹木等管理経費補助制度			指標・目標値の説明(算定式)	市条例に基づき指定した保存樹木等の所有者(管理者)からの申請件数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	10件		10件		10件	10件		10件	
	実績値・達成状況	12件	達成	6件	未達成	7件	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	06目	003細目	01細々目	緑地保全事業				
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	23,532	20,886		18,991	20,791	20,791					
決算額(B)=(C)+(D)	21,523	19,607		16,296							
財源※	特定財源(C)	2,502	5,343		3,847	3,714					
	一般財源(D)	19,021	14,264		12,449	17,077					
概算人件費(E)	23,400	23,700		31,600	31,600	31,600					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	0.00	3.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	44,923	43,307		47,896	52,391	52,391					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	保存樹木等維持管理経費補助金については、令和2年度からは、生垣も補助対象とすることとし、適正な維持管理を図る。	2年度	拡充して実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41200211	事業名称	荒川運動公園施設運営費	事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先	258-1110(#33-5332)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民全般	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民が安心・安全に利用できる憩いの場として整備する。	施設維持管理業務 ・公園施設修繕・除草・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託		
元年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 施設維持管理業務 ・公園施設修繕・除草・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託	主な実績		
		項目	実績	単位
		バーベキュー場利用者数	16,398	人
事業の成果【定性的評価】	地域住民が安全で快適に公園を利用することができ、地域のコミュニケーションの向上に寄与することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	03細々目	荒川運動公園施設運営費	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	39,178	21,591	23,430	43,083	43,083			
決算額(B)=(C)+(D)	20,293	20,670	23,096					
財源※	特定財源(C)	20,293	20,670	23,096	29,342			
	一般財源(D)	0	0	0	13,741			
概算人件費(E)	3,120	3,160	3,160	3,160	3,160			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	23,413	23,830	26,256	46,243	46,243			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	今年度について、台風の影響により、10月中旬以降は運営の中止を余儀なくされた。引き続きサービスの内容や災害等発生時の対応の見直しを図ることで、利用者が安全で快適に利用できるよう継続していく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41200221	事業名称	都市公園指定管理者管理費	事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先	258-1110(#33-5332)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市公園緑地公社 (一社)川口市造園業協会	公園利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供する。	公園維持管理業務 ・樹木管理 ・清掃 ・簡易な修繕 ・除草 ・遊具点検	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	公園維持管理業務 ・樹木管理 ・除草 ・清掃 ・遊具点検 ・簡易な修繕	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	02細々目	都市公園指定管理者管理費	
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度	
予算額(A)	320,520	320,520		323,489		327,590	327,590	
決算額(B)=(C)+(D)	320,520	320,520		323,489				
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0	
	一般財源(D)	320,520	320,520		323,489		327,590	
概算人件費(E)	1,170	3,160		1,185		3,160	1,185	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.40	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	321,690	323,680		324,674		330,750	328,775	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	公園利用者の安全性と快適な利用環境を確保するため、引き続き事業を継続する必要がある。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41200804	事業名称	赤山歴史自然公園整備事業	事業区分	主要な事業 政策宣言36・その他
担当	都市計画部	赤山歴史自然公園整備室	問い合わせ先	242-6341	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 令和 5 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	国の法令:都市計画法、都市公園法、景観法 等 条例:川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等(地域住民、公園・ハイウェイオアシス利用者)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	豊かな自然環境や歴史・文化遺産を活用し、さらに、広域的な利用集客を促進するため首都高速線との事業連携によりハイウェイオアシス化を図ることで、地域の振興と農業の活性化にも資する公園を整備し、人と人が交流するにぎわいあるまちづくりを進める。	・イナパーク川口の整備	
元年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	植栽、雨水排水整備、園路整備、管理施設整備、電気設備等工事 (令和元年度予定箇所完了)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	整備面積について、令和元年度の目標4.7haに対し、本年度の実施内容が予定どおり完了したため、実績も4.7haであった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	整備面積			指標・目標値の説明(算定式)	イナパーク川口の整備予定面積8.9haに対する整備状況。				
	単位	ha	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	3	達成	3.80	達成	4.70	達成	6.30	達成	8.90
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	05目	002細目	01細々目	赤山歴史自然公園整備事業					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	1,673,156	404,165	689,663	856,650	3,088,469							
決算額(B)=(C)+(D)	1,369,474	388,089	328,557									
財源※	特定財源(C)	899,237	191,903	173,103	357,703							
	一般財源(D)	470,237	196,186	155,454	498,947							
概算人件費(E)	34,242	46,215	47,005	54,036	54,036							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.39	0.00	5.85	0.00	5.95	0.00	6.84	0.00	6.84	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,403,716	434,304	375,562	910,686	3,142,505							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	事業の全体計画に基づき、工事行程や工事内容を詳細に検討し、事業を進めてきた。今後は、令和3年度の公園北側区域の開設、令和4年度のハイウェイオアシス及び公園全体の開設を目指し、事業を進める。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41200901	事業名称	緑の日推進事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-6335	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、緑の日推進事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口グリーンフェスティバル実行委員会	川口グリーンフェスティバルの来場者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	10月第2日曜日の「緑の日」を記念し、緑の日推進事業をグリーンセンターで川口グリーンフェスティバルと同時開催する。緑豊かな都市環境づくりの推進のため、市民の緑化に対する意識の高揚と知識の普及を図ることにより、潤いと安らぎのある快適な生活環境を形成する。	川口グリーンフェスティバルにおいて実施する緑の日推進事業に必要な経費を補助金として交付し、民有地の緑化推進事業や緑化意識の啓発事業、知識の普及事業を実施する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	家庭緑化普及のための苗木等の配布	項目	実績 単位
		緑の日推進事業参加者数	400 人
事業の成果 【定性的評価】	自然災害(台風19号)の影響により、川口グリーンフェスティバルが縮小して開催されたため、緑の日推進事業も一部縮小して行ったが、緑化についての啓発活動により、市民の緑に対する意識が高まった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	004細目	01細々目	緑の日推進事業
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
予算額(A)	1,500	1,500	1,500	—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	1,500	1,500	979				
財源※	特定財源(C)	1,500	1,500	979	—		
	一般財源(D)	0	0	0	—		
概算人件費(E)	2,340	2,370	2,370	—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,840	3,870	3,349	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	急遽事業の縮小があったが、緑化意識の啓発・知識の普及は行えた。	2年度 休止 3年度 — 4年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41201201	事業名称	公園施設長寿命化計画策定事業	事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先 258-1110(#33-5333)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	平成25年度までに策定した対象20公園の川口市公園施設長寿命化計画に、未策定の対象79公園を順次追加して、公園施設のうち主に遊戯施設の計画的な補修・更新を行い、公園利用者の安全・安心を確保する。	追加対象の79公園について、遊具や工作物を対象とした公園施設の点検・調査を行い、その結果に基づき次の事項等を定める。 ・対象都市公園整備状況 ・健全度調査結果、長寿命化の具体的な対策 ・計画全体の実施効果など	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	策定済みの75公園に加え、新たに10公園の計画策定を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	当計画に基づき、適正に維持管理されている公園施設の更新等について、社会資本整備総合交付金交付要綱による公園施設長寿命化対策支援事業の対象事業として交付金を受けることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	004細目	01細々目	公園施設長寿命化計画策定事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	11,811	6,232		3,080		6,600		8,500		
決算額(B)=(C)+(D)	7,495	6,232		3,080						
財源※	特定財源(C)	5,500	3,000		1,500		3,000			
	一般財源(D)	1,995	3,232		1,580		3,600			
概算人件費(E)	2,340	1,580		1,580		1,580		1,580		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,835	7,812		4,660		8,180		10,080		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	今後は、計画対象公園以外の約300の公園緑地についても同計画を策定し、予防保全管理の実施によるストックの有効活用と、公園利用者の安全・安心の確保を行う必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41201301	事業名称	特定生産緑地地区指定検討事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-5721	新規・継続
					新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和元年度～	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備	
根拠法令等		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	生産緑地所有者、市民	生産緑地所有者、市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	生産緑地の当初指定から30年が経過する2022年に向けて、特定生産緑地の指定の方針等を検討するとともに、今後も生産緑地制度を活用しながら営農を継続する所有者へ、今後必要となる手続きを円滑に進めることで本市の都市における農地の緑の保全を図る。	特定生産緑地への指定方針を検討し、土地利用の考え方の整理を行うとともに、生産緑地指定解除に伴って生じる諸課題への対応策の検討、特定生産緑地指定にかかる種々申請への対応策等について検討し、令和2年度以降、申請の受付を行う。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	現況調査の実施、特定生産緑地の指定方針の検討と共に、システム既存データ更新及び申請書式を当該システムに搭載し、今後の事務に備える準備を実施した。また、生産緑地指定解除に伴う諸課題の検討をプロジェクトチームにおいて実施した。	項目	実績	単位
		生産緑地所有者向け意識調査の回答率	64	%
生産緑地地区現況等調査委託	1	件		
事業の成果 【定性的評価】	システムは、更新作業や新たなデータの取り入れを行い、実用的なものとなった。現地調査の委託、地権者の意向調査により、生産緑地の現況や地権者の意向を把握することができた。また、今後の生産緑地のあり方や指定方針を作成できた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	006細目	01細々目	特定生産緑地地区指定検討事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	—	—	12,195	11,992	11,992					
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	10,725							
財源※	特定財源(C)	—	0	0						
	一般財源(D)	—	—	10,725	11,992					
概算人件費(E)	—	—	31,600	31,600	31,600					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	42,325	43,592	43,592					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
51 /60	特定生産緑地の指定申請手続きに伴い、相当量の事務作業が発生することが予測されることから、既存データの更新はもろろのこと、指定申請手続きの業務委託をしながら、システムを有効活用するようになっていく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41201401	事業名称	樹木管理指針策定事業	事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先	258-1110(#33-5333)	新規・継続
					新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 31 年度 ~ 令和 2 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	道路法、都市公園法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民全般	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市管理の街路樹や公共施設の樹木について、より質の高い維持管理を行い、安全で潤いある緑豊かな道路空間を提供する。	樹木管理の精通者や市民の意見を聞きながら、樹種の特性を生かした剪定手法や、年次計画による維持管理などを盛り込んだ管理指針を策定する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	令和元年度は街路樹の管理指針を策定した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	市民等に対して、安全で潤いある緑豊かな道路空間の提供を図るための、樹木管理指針を策定することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	006細目	01細々目	樹木管理指針策定事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	—	—	8,800	8,800	—					
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	8,800							
財源※	特定財源(C)	—	—	0	0					
	一般財源(D)	—	—	8,800	8,800					
概算人件費(E)	—	—	3,950	3,950	—					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.50	0.00	0.50	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	—	—	12,750	12,750	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	街路樹と公共施設等の樹木では、管理手法が大きく異なり、また膨大なデータ解析に時間を要することから、街路樹編と公共施設編をそれぞれ2箇年に分けて、樹木管理指針を策定する。	2年度 現状維持で実施 3年度 完了 4年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41201501	事業名称	公園緑地公有地化事業	事業区分	通常事業
担当	建設部	公園課	問い合わせ先	258-1110(#33-5332)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 元 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	地権者	公園利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	現在、民地を借り上げて公園としている箇所(落合公園)について、計画的に用地を購入し、公有地化し、引き続き公園として活用するもの。	公園用地購入に伴い、土地鑑定、測量委託等を行う。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・用地測量 ・取得交渉	主な実績	
		項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	今まで行われていなかった用地の測量と境界の確定を行うことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	007細目	01細々目	公園緑地公有地化事業
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
予算額(A)	—	—	2,343	—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	2,343				
財源※	特定財源(C)	—	—	0	—		
	一般財源(D)	—	—	2,343	—		
概算人件費(E)	—	—	790	—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.10	0.00	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	3,133	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
46 /60	交渉途中において、地権者側の都合により売却意思なしの意向を示されたため、落合公園の買収を断念した。	2年度 休止 3年度 — 4年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	41201602	事業名称	沼田公園整備事業	事業区分	主要な事業 政策宣言43
担当	建設部	公園課	問い合わせ先	242-6339	新規・継続
					新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	隣接する第2沼田公園と一体的に防災機能を備えた公園として整備を行う方針であり、災害時に周辺住民が避難できる場を提供し、平常時は市民の憩い場を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧鳩ヶ谷市民プール解体工事</li> <li>・旧鳩ヶ谷市民プール解体設計業務委託</li> <li>・沼田公園実施設計委託</li> <li>・沼田公園用地測量委託</li> <li>・沼田公園整地工事</li> <li>・沼田公園整備工事</li> </ul>	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	公園整備に伴う諸施設の配置や規模、基盤施設、植栽計画等について概略の設計を行った。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	令和3年度に行う実施設計に必要な資料を整理することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	05目	001細目	01細々目	沼田公園整備事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	—	—	9,762	224,468	66,000			
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	9,460					
財源※	特定財源(C)	—	—	0	0			
	一般財源(D)	—	—	9,460	224,468			
概算人件費(E)	—	—	3,950	3,950	3,950			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	13,410	228,418	69,950			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
52 /60	順調に事業を進めている。	<table border="1"> <tr> <td>2年度</td> <td>効率化して実施</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>効率化して実施</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>効率化して実施</td> </tr> </table>	2年度	効率化して実施	3年度	効率化して実施	4年度	効率化して実施
2年度	効率化して実施							
3年度	効率化して実施							
4年度	効率化して実施							